

ユーザーニーズを限界まで突き詰めた 性能追求型ブレーキパッド iSWEEP Brake Pad

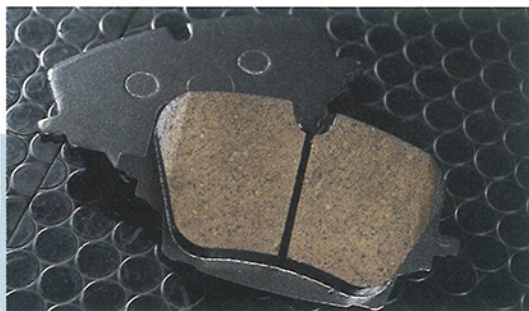
アイススイープ ブレーキパッド



使用目的別に7種類の摩擦材を開発



現代のパッドは環境性能を満たすために、たとえば銅（銅素材）なども使用制限されている。そんな中で求められる性能を実現するために徹底したテストが必要。



基本的な話をするが、ブレーキパッドというのは素材の配合のいかんによって絶対的な制動力やペダルを踏んだときのフィーリング、発生するダストの量や耐熱性などが違ってくる。純正のブレーキパッドというのは、こうしたさまざまな指標をおおむね満足させるものとなっているはずなのだが、欧州車の純正パッドは全体にダスト量が多く、ちよつと走るだけでホイールが真っ黒になってしまう。これを防ぐためにはダストの発生

**機能面の検証を確実に行う開発姿勢
一度使っと、ほかでは満足できなくなる**

量が少ないブレーキパッドへの交換が必要となってくるわけなのだが、大事なはそのパッドがきちんと利くかどうかということ。ダスト量が少なくても、利かないのではまったく意味がない。純正パッド以上に止まり、ペダルフィーリングが自然で、なおかつダスト量が少ないというものでなければならぬのだ。

iSWEEPブランドでは現在、7種類のブレーキパッドを販売している。これはオーナーが自分の乗り方、クルマの使い方、マッチしたものを選びやすいよう用意されたものだ。

純正パッドのダスト量の多さに閉口している人に向けた「IS1500」、ワンランク上の制動力を求める人向けの「IS2000」、ワインディング走行やミニサーキット走行向けの「IS2500」、よりスポーツ走行向けの「IS3000」、フルサーキット走行にも対応する耐熱性をもった「IS3500」、タイムアタックやレース向けの「IS4000」、耐久レースに適応する「IS耐久」というのがそのラインアップだ。

これらのパッドはそれぞれ、用途にマッチした摩擦係数や適応温度域を持っている。だからこそ、ブレーキパッドを選ぶときは身の丈にあったものにする、ということとを忘れてはいけない。ストリー